



岩手大学同窓会連合会報

No.2 2010年12月 発行

新役員挨拶

平成21年度事業報告など
同窓会連合活動状況

- 各同窓会の情報
- 岩手大学の情報



岩手大学同窓会連合会長挨拶

会長 太田原 功



同窓会連合発足2年目になりました。各同窓会の会合に母校の先生方の他、他の同窓会会員をお招きする機会が増えたと伺っており、連合設立の趣旨をご理解頂きつつある証左であると推察し、喜んでおります。今年度の事業として「卒業生・修了生と学長との懇談会in仙台」と「ホームカミングデイ」を行いました。この2事業は、従来大学独自の事業であったものを、今年度から「連合と大学との共催事業」としたものであります。仙台における懇談会は盛岡、八戸に次いで通算3回目であり、盛会でした。来年は札幌市で開会の予定です。開催地において頂いた学長始め副学長、各学部長等から大学の様子をお伺いする絶好の機会ですので進んでご参加下さるようお願い致します。「ホームカミングデイ」には卒業生のための「大学の近況報告会」も開催しており、気楽に大学において頂いて母校の雰囲気を楽しんで頂きたいと願っております。今後共各学部同窓会並びに岩手大学同窓会連合活動へのご協力を切にお願い申し上げます。

岩手大学長挨拶

学長 藤井 克己



同窓生の皆様を本学に迎える「ホームカミングデイ」、その記念すべき第1回を昨年6月13日に開催しました。これは岩手大学同窓会連合の創設と岩手大学創立60周年の記念行事に合わせたものです。第2回となる今年は、関係各位と協議の上、不來方祭（学園祭）の2日目、10月24日（日）に設定しました。学生が企画運営する不來方祭も今年で数えて61回、大学創立満61年ですから、これは年々入れ替わる学生諸君のたゆまぬ持続性の証しといえます。実はここ数年、不來方祭の初日には、高校生向けに大学を紹介する「オープンキャンパス」を併催しています。今年は2日目を「ホームカミングデイ」としたことで、初日に高校生、2日目に同窓生と、一般市民を交えた3世代もの老若男女が集うこととなり、キャンパスは活気に溢れました。『全学年の全学生が単一キャンパスで学ぶ』という本学の強みを改めて体感したものです。大学の近況を簡単にお伝えしましたが、同窓生の皆様には、今後とも母校岩手大学と同窓会連合に変わらぬ御支援をお願い申し上げます。

新役員挨拶

北桐会会長 黒川 國児



この度、教育学部同窓会「北桐会」第13代目会長職を受けることになりました。「北桐会」は昭和28年に結成されていますので平成25年には創立60周年を迎えることとなります。今日まで卒業生・修了生の数は延べ1万9千人以上に及んでいますが、教育学部は平成12年から学校教員養成課程160名＋新課程（生涯教育課程＋芸術文化課程）90名の新体制で再出発し11年が過ぎようとしています。学校教員養成はじめ生涯教育や芸術文化の領域に関わる有為な人材育成の使命を果たされるよう教育学部の更なる発展を願っています。同窓会「北桐会」はこれまで可能な限り学部支援を継続してきましたが、今後とも学部との連携を深め支援して行きたいと思っております。その為にも今後HPの更新、充実した会報発行、支部活動の組織化・活性化を図っていき、多くの会員から親しまれる組織として活動して行きたいと思っております。

新役員挨拶

一祐会会長 渡邊 喬



会員の皆様こんにちは。この度、同窓会連合の副会長を仰せつかりました。よろしく申し上げます。同窓会連合は昨年6月に発足以来、大学と協力し、学長と卒業生との懇談会、岩手大学ホームカミングデイの開催等を行ってきております。同窓会連合の会員が卒業生個人でなく、各学部同窓会が会員ということで馴染みにくいという人もおりますが、みんなで盛り上げていきましょう。一祐会の支部では他学部の同窓生を交えて懇親会を行っている支部もあり、今後ますます岩手大学同窓会としての会が持たれてくるのでしょうか。さて、工学部同窓会一祐会は昭和17年に発足し、平成24年には創立70周年を迎えることとなります。現在準備委員会を設け70周年記念事業について検討しており、5月の一祐会総会に事業案を提示し、決まり次第進めていきたいと思っております。一祐会は同窓会連合に全面的に協力し、岩手大学の発展に寄与していきたいと思っております。

同窓会連合設立までの流れ

- 平成18年9月25日（月）
同窓会連合準備委員会の立ち上げを目指し、「同窓会長と学長との懇談会」を開催（計3回開催）
 - 平成18年11月16日（木）
同窓会連合設立準備のためワーキンググループを設置（計8回開催）
 - 平成20年12月18日（木）
第1回岩手大学同窓会連合（仮称）設立準備委員会開催
 - 平成21年4月16日（木）
第2回岩手大学同窓会連合（仮称）設立準備委員会開催
 - 平成21年6月1日（月）
第3回岩手大学同窓会連合（仮称）設立準備委員会開催
第1回岩手大学同窓会連合設立委員会を設置
〔・岩手大学同窓会連合会則の決定
・ 会長（太田原 功会長）の決定〕
- 同窓会連合の設立

平成21年度事業報告

1. 同窓会連合設立記念事業
日程：平成21年6月1日（月）
(1)記念式典・講演会
場所：岩手大学教育学部北桐ホール 14時～
（テーマ）「上田の森に なりわたる きけ大学の かねの音を」
（講師）七友会…遠藤 隆氏、北桐会…石川桂司氏
一祐会…竹澤久嗣氏、北水会…田中信幸氏 計4名
(2)記念祝賀会 場所：岩手大学工学部食堂 17時30分～
(3)創立60周年記念パネル展示 場所：岩手大学第2体育館
2. 理事会の開催
第1回：平成21年6月1日（月）
場所：岩手大学事務局第1会議室
議題1. 事業計画（案）について
2. 予算書（案）について など
第2回：平成21年10月23日（金）
場所：岩手大学事務局第1会議室
議題1. 会長代理について
2. 新規事業計画（案）について
3. 予算書（補正案）について など
3. 運営委員会の開催
平成21年7月～平成22年3月までに、計9回開催（メール会議含む）
4. ホームページの作成
・提案のあった3業者の中から運営委員会で審議のうえ、決定。

- ・平成22年3月 ホームページ立ち上げ
（掲載内容）：会長挨拶、同窓会連合の概要、会報、各同窓会の情報など
- 5. ロゴマークの作成
・第8回運営委員会（拡大運営委員会）において、提案されたロゴマークについて審議のうえ、決定。
・藁谷委員を通じて、アートフォーラムに依頼し、作成。
- 6. 「卒業生・修了生と学長との懇談会」への支援について
・太田原同窓会連合会長が出席し、今後の大学に関しての意見交換や卒業生・修了生と交流を図った。
日程：平成21年8月8日（土）
場所：八戸第1ワシントンホテル（八戸市）
- 7. 「会報の発行」
平成21年8月 第1号発行
（掲載内容）：同窓会連合役員からの挨拶、設立記念講演会要旨、各同窓会の情報、岩手大学の情報など
- 8. 「コミュニティネットワーク事業」の検討について
・各同窓会からの意見を伺い、集約のうえ、検討を行った。

平成22年度事業計画について

1. 理事会の開催
第3回：平成22年6月11日（金）
場所：岩手大学事務局第1会議室
議題1. 役員の選出について
2. 平成21年度事業報告（案）について
3. 平成21年度決算（案）及び会計監査結果について など
2. 運営委員会の開催
計3回開催 第10回：平成22年4月16日（金）（メール会議）
第11回：平成22年5月25日（火）
第12回：平成22年9月30日（木）
3. 「卒業生・修了生と学長との懇談会」への協力
・岩手大学との主催事業として、「卒業生・修了生と学長との懇談会」への協力を行う。
・河北新報へ広告を出し、仙台市を中心に周知を行う。
4. 「岩手大学ホームカミングデイ」への協力
・岩手大学との主催事業として、「岩手大学ホームカミングデイ」への協力を行う。
5. 「会報（第2号）の発行」
6. 在学生への支援
7. 岩手大学紹介番組「ガンダイニング」への協賛
8. 「コミュニティネットワーク事業」の検討
・サークルへのニーズ調査を実施する。

平成21年度 岩手大学同窓会連合 決算書

（単位：円）

項目	予算額	収入額	差引額	備考
【収入の部】				
会費収入	2,000,000	2,000,000	0	4同窓会×500,000円
その他収入	0	260	260	利息
計	2,000,000	2,000,260	260	

項目	予算額	支出額	残額	備考
【支出の部】				
事業費	1,829,993	1,106,608	723,385	
（内訳）（設立記念事業経費）	879,993	865,908	14,085	①設立記念式典・講演会 103,440（講師謝金・旅費等） ②会報発行 562,468（印刷費、発送補助費） ③記念展示 200,000（パネル作成料）
（事業経費）	950,000	240,700	709,300	①ホームページ作成 140,700 ②ロゴマーク作成 100,000
会長活動経費	100,000	0	100,000	
会議費	2,100	0	2,100	（お茶代）
事務費	29,520	23,005	6,515	（印鑑購入費、事務用品費、通信費、振込手数料）
予備費	38,387	0	38,387	
計	2,000,000	1,129,613	870,387	

収入額－支出額＝繰越額	2,000,260	－	1,129,613	=	870,647
-------------	-----------	---	-----------	---	---------

※事業費残額のうち700,000円は「コミュニティネットワーク事業」の経費である。

同窓会連合ホームページを開設しました！

岩手大学同窓会連合のホームページを開設いたしました！

同窓会連合の活動や連合会報、同窓会のイベント情報等を掲載しています。その他卒業生に関する情報なども、随時掲載する予定です。岩手大学ホームページからもアクセスできるようになっておりますので、ぜひご覧になっていただければと思います。

また、掲載してほしい情報などありましたら、随時同窓会連合事務局までお知らせ下さい。
(ホームページアドレス <http://alumni.iwate-u.ac.jp/>)



同窓会連合ロゴマークを作成

平成21年6月1日に岩手大学同窓会連合が設立されましたが、より皆様を知ってもらい、また親しみをもってもらえるよう、教育学部の藁谷先生（同窓会連合理事）を中心とした岩手大学の教員等から組織される「アートフォーラム」の協力により、同窓会連合ロゴマークを作成いたしました。

このロゴマークは、岩手大学同窓会連合を構成する“4つ”の同窓会（七友会、北桐会、一祐会、北水会）の“同”と“窓”を、“4つ”の“正方形”で表しています。また、4つの同窓会の連携、支え合い、総合力を結集し、岩手大学のテーマである「学びの銀河」での夢を目指し発展していく姿を岩手のイニシャル「i」としてシンボル化しています。

さらに色については、澄んだ空、開かれた窓、岩手の美しい自然環境が表されています。このロゴマークは、会報の他、同窓会連合主催イベント等でも今後使用していく予定です。



本学卒業生狩野さん、バンクーバー冬季パラリンピックで金メダル獲得！

平成20年度工学部福祉システム工学科卒業の狩野亮さん（現職株マルハン）が、平成22年3月にカナダのバンクーバーで開催された冬季パラリンピックに出場し、アルペンスキースーパー大回転男子座位で金メダル、滑降座位で銅メダル、回転座位で6位入賞を果たしました。狩野さんは、父親の影響で幼い頃からスキーに親しんでいましたが、小学3年生時に登校中に交通事故に遭い、両足が不自由になったことから、スキー指導員をしていた父親のもとでチェアスキーを始めました。その後の厳しい練習により、大学在学中の2年生時にもトリノ冬季パラリンピックに出場、今回のこの2度目の挑戦で見事に快挙を達成いたしました。

4月には母校である大学を訪れ、狩野さんは、「岩手大学は、今の自分の基礎を形成してくれた場所であり、一人の人間として、またアスリートとして成長できた場所であった」と感想を述べられました。また後輩である在学生に対しては、「自分がスキーに出会って変わったように、物事に対して一生懸命取り組みれば、夢は叶えられるものだ」と激励の言葉を贈りました。

また、6月に実施した開学記念行事では、藤井学長から特別表彰があった後、「頂点を目指して」と題して、講演を行いました。講演では、障がいスポーツを始め、周りへの感謝の気持ちを学んだことやトリノパラリンピックに出場し、アスリートとして一回り成長できたこと、そしてバンクーバーではメダル獲得に向けて高い志を持って望むことができ、結果に繋げることができたことなどが語られました。さらに、当日は会場内で、来聴者に対して手に取って見られるよう獲得した金メダル・銅メダルを回し、披露するという計らいもあり、来聴者はそのメダルの“重さ”を感じ取りました。

狩野さんの今後のさらなる活躍を期待しています。



学長のもとを表彰訪問に訪れた狩野さん



講演会の様子

メダルを手に取り、眺める来聴者

第3回 岩手大学卒業生・修了生と学長との懇談会 開催

平成22年8月7日(土)に仙台市内のホテルを会場に「第3回岩手大学卒業生・修了生と学長との懇談会」が行われました。この懇談会は、岩手大学卒業生・修了生に大学の取組をお知らせするとともに、それに対する意見交換を行うことを目的に開催され、平成20年度の第1回を盛岡市、第2回を八戸市で実施し、今回が第3回目となります。当日は、北は北海道、南は、東京、神奈川といった遠方からの参加もあり、約70名（最高齢90歳）の参加がありました。

懇談会では、冒頭で藤井学長及び太田原同窓会連合会長から挨拶の後、玉理事（総務・教育・学生担当）・副学長から「大学の現状と最近の取り組み」について、“ピアサポーター”や“学生何でも相談室”などといった大学の学生相談体制を紹介するDVDを作成したことや、上田地区学生寮の自啓寮と同袍寮を今年度、全面改修工事を行うこと、また岩手大学を体験的に紹介していくブログ“岩大エキス”の紹介、卒業生・修了生の就職・進路状況などについて報告がありました。



懇談会の様子



懇親交流会の様子

その後の質疑応答・意見交換では、長引く景気の低迷を受けての大学の就職支援・学生支援への対応について、外国人留学生の受入状況や学生寮の活動状況、企業との共同研究等の連携について、獣医学教育や今後の学部としての在り方についてなど、次々と意見・要望等が出され、約1時間程度の非常に熱のこもった活発な意見交換がなされました。

また、懇談会終了後に行われた懇親交流会では、約60名が参加し、各学部同窓会長からの挨拶の後、学部年代等に関わらず親睦を深め合い、今後、同窓会連合がさらなる大学の発展や各同窓会の親睦に寄与していくことを再確認し、盛会のうちに終了いたしました。

来年度は、平成23年6月25日(土)に札幌市で開催する予定です。ぜひご参加下さい。詳細等決まり次第、同窓会連合ホームページに掲載いたします。

第2回 岩手大学ホームカミングデイ 開催！

平成22年10月24日(日)に岩手大学ホームカミングデイが開催されました。このイベントは、卒業生の方々に母校に帰っていただき、大学生活を再び懐かしみ、また在校生・教職員と卒業生とが交流し、絆を深めてもらうことを目的に行われ、第2回目となる今回は岩手大学との主催事業として実施しました。当日は、岩手大学の取組を紹介した“パネル展示”や学長・理事からの“近況報告会”、2年前にリニューアルオープンした工学部食堂を会場に“懇親会”などを開催しました。また、不來方祭と同日に開催されたということもあり、学生サークルの発表会や学生による模擬店の出店などもあり、

大いに賑わいをみせました。同窓生も久々の母校への帰宅に、時代とともに変化している岩手大学に、驚きとともに懐かしい在学当時の面影も蘇り、大学の変化と変わらぬ風景を感じながら、久々の母校を楽しみました。

岩手大学ホームカミングデイページURL

<http://www.iwate-u.ac.jp/homecomingday/index.shtml>



近況報告会の様子



懇親会の様子



企業との共同研究品の販売



卒業アルバム閲覧コーナー



パネル展示会場

七友会 人文社会科学部 同窓会

Shichiyukai

<活動報告>

◆人社同窓会「七友会」は、2011年に設立30周年（1981年設立）を迎えます。7月には盛岡で設立30周年記念交流会の開催が予定されています。

◆学部就職ガイダンス：七友会では例年12月に開催される人社学部就職ガイダンスを後援しています（学部教育後援会と共催）。21年度は、12月15日（火）の夕刻より3年生対象に「先輩の就職活動体験から学ぶ」をテーマに開催されました。ガイダンスでは卒業生の就活体験談や現在の仕事内容の紹介、現4年生の内定者による就活体験報告（実際の就活の注意点や企業を選んだコツ、自己アピールの仕方など）の後、3、4年生の現役学生と卒業生の懇談会・懇親会が行われました。参加者は70名ほど。就職状況は厳しく、同窓会と連携をはかったこうした就職ガイダンスの開催は今後も益々重要なイベントとなりそうです。

◆人文社会科学部・学術講演会：七友会では奨学寄附金を通して人文社会科学部学術講演会の開催を支援してきました。平成21～22年度に開催された学術講演会は以下の通りです。

- ①演題：遺伝マインドのすすめ 講演者：安藤寿康氏（慶應義塾大学教授）2009年11月20日（金）G29教室
- ②演題：一条ふみと岩手 講演者：黒田大介氏（岩手日報）・水溜真由美氏（北海道大学）2010年2月4日（木）北桐ホール
- ③演題：沖縄密約の今日的意義 講演者：西山太吉氏（元毎日新聞記者、沖

縄密約文書開示請求訴訟原告）2010年11月1日（月）、ぼらんホール ④演題：伝統芸能・講談と江戸のリサイクル社会 講演者：旭堂南陽氏（講師）2010年11月9日（火）、北桐ホール

<その他の活動記録>

同窓会報「七友会だより」の発行〔第29号（21年8月）、第30号（22年3月）、第31号（22年9月）〕／理事会・評議員会の開催（21年6月14日；22年6月12日いずれも盛岡市アイーナ）／七友会設立30周年記念事業実行委員会（委員長足立慎悟氏）が発足、盛岡部会、仙台部会、東京部会で記念事業の企画が検討される。

<今後の活動予定>

「七友会」30周年記念交流会の開催：（日時）平成23年7月2日（土）17時～20時；（場所）ホテルメトロポリタン盛岡本館（参加費）無料；詳細は七友会ホームページ(<http://jinsya.com>)、七友会ツイッター (<http://twitter.com/shichiyukai>)、facebook (<http://bit.ly/d0PlwX>)をご覧ください。

◆旧人社3号館（新学生センターB棟）南側には第一期生の卒業記念植樹として植えられた10本のヤマボウシの木があります。改築工事に伴い一時伐採の話も持ち上がりましたが、結局、剪定してほとんどそのまま残されることになりました。写真は新棟と樹木達の現在の様子です。30年の歳月が経ちヤマボウシの木々も大きく育っています。



学生センターB棟とヤマボウシの記念樹

北桐会 教育学部 同窓会

Hokutoukai

平成22年度の北桐会は、6月26日開催の評議員会に於いて、黒川新会長の就任が承認され、新体制で、事務局会等を開き、会務の具体的計画を検討しながら推進しております。主な活動状況を報告いたします。

(1) 会員名簿

名簿の整備には一人でも多くの動向を把握する必要があります。しかしながら個人情報保護法や名簿掲載の辞退等、従来の方法では名簿掲載が困難な状況にあります。卒業・修了時に行っている新会員の情報収集を中心に、各会員からの情報も名簿整備の大きな要素となりますので、ご協力よろしくお願いたします。

(2) 植樹事業

5月27日・9月30日に植林地の現状視察調査を行いました。盛岡市玉山区数川外山の山林にある凡そ5ヘクタールの分収造林は昭和60年から植樹を開始し、平成46年を目安に、50年間の事業です。現在12,300本の落葉松は立派な林を形成しています。

(3) 支部活動

現在18支部があり、総会等の報告が寄せられています。盛岡支部は創立20周年を迎え11月27日には式典が行われました。8月7日仙台で開催されました、第3回岩手大学卒業生・修了生と学長との懇談会への北桐会からの参加者が少なく、仙台支部の再興が期待されるところです。来年第4回の同会が札幌での開催が決定されております。北海道支部中心に参加者へのお声がけを

して頂くこととなりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

(4) 「北桐」の発行

本年度発行予定の北桐は50号の特別号になります。編集委員会では内容の検討を行っていますので、どうぞご期待ください。

(5) 準会員支援活動

新入生へ入学記念品として学生歌入りのCDと会報を、卒業・修了記念品として岩手大学Tシャツをそれぞれ贈呈しています。サークルやクラブ活動の全国大会出場、演奏会、展覧会等への支援活動も行ってあります。教育学部へは学生教育支援金として、毎年20万円を寄附いたしております。

(6) お知らせ

10月29日午前6時5分頃に発生した教育学部旧同窓会館での火災は、午前9時に鎮火し、建物は全焼してしまいました。この建物は昭和30年頃北桐会の寄附金等の基金をもとに建設し、岩手大学へ寄贈したものでした。同窓会は事務局として平成20年まで20年間借用使用し、現在は3部屋をサークルが使用していました。原因は不明です。同窓会の資料等多少の消失は有りましたが、怪我人等は有りませんでした。NHKの報道により全国放送され、会員の皆様から多くのお見舞いを頂きました。有り難うございました。



消失した同窓会館内北桐会事務局からの紅葉 2000年撮影（藁谷）

一祐会 工学部 同窓会

Ichiyukai

一祐会は、創立が、昭和17年（1942）9月16日で、現在の会員数は、学生会員 約2,050名を入れて、約23,000名からなります。支部は、北海道から九州まで24支部があり、総会には一堂に会し、それぞれの支部活動を紹介し、また、それぞれの支部総会には、大学教員が参加、大学の現状を報告しながら交流を深めています。しかも、連合が設立されたこともあり、大阪、北海道などでは、他学部の卒業生も交えての交流の場ともなっています。

すでに今年も、札幌では、役員会の折に、他学部の方々もお声をかけ実施されたと聞いています。さらに、工学部の各学科には、科会が現在4学科あり、卒業生との交流も活発に行われています。

主な活動は、総会での講演会および懇親会と、「北杜」と称する、学内状況のお知らせや先生方の移動、10数件にもおよびクラス会活動などを紹介した会誌の、会員全員への発行を行っています。昨年度は、5年毎に発行する会員名簿を作成し、卒業生全般の状況を紹介し、交流を図っています。

最近、2年後を迎えます、大行事である、一祐会創立70周年記念事業に向けて以下の通り、取り組みを始めています。ぜひ、ご参加下さい。

2012年9月16日（日）、14時から、ホテル メトロポリタンニューウイングで、記念講演や祝賀会を行う予定です。

さらに、一祐会では、これまでの事業に加えて、同窓会の意義や活動内容のお知らせのための、在学生を中心とする広報活動や、就職支援や奨学金などを考慮した学業支援事業なども検討を始めています。

機会がありましたら、一祐会館にお出かけください。昔からの資料なども展示してあります。



平成22年度 総会、懇親会の様子（エスポワールいわてにて）

北水会 農学部 同窓会

Hokusuikai

本会の一年の活動は、例年5・6月に開催される理事会・評議員会（総会）から始まります。本年は5月28日（金）に盛岡市で開催されました。近年は会議出席者が少なくなってきて少々さびしい感がありますが、北は北海道、南は大阪から26名の出席を得て、熱心に審議をいただきました。会議後の懇親会は例によって古く在校時代の思い出話などに華が咲きました。

評議員会が終わりますと順次各支部で総会が開催されます。今年も5月15日の愛媛支部総会を皮切りに、関東連合、近畿支部連合など11支部で開催されました。この後12月には紫波支部の開催が予定されています。（本部把握分）

支部総会には例年、農学部長さんにも出席いただき、近畿支部総会では農学部教員（北水会員）の講演が予定され、大学の近況と研究の話題等の話をいただいております。

各地の支部総会は、地域会員の親睦を深める欠かすことのできない会の活動ですが、開催する支部がほぼ決まっております。若い会員の参加が少ないという悩みも抱えております。

個々の会員を結ぶ重要な絆は年二回発行する同窓会誌「北水会報」です。多くの会員に興味をもって読んでいただけるよう、その内容の充実には特に力をいれております。盛岡高農同窓会報第一号（A5版縦書き）は古く大正九年十二月の発行にさかのぼり、第六十八号（昭和十八年九月発行）まで続きますが、戦争末期から終戦後の混乱期は不定期発行となっております。

昭和二十七年「岩手大学農学部北水会」として改組スタートしての第一号「北水会報」（B5版縦書き）がこの年の7月に発行されました。以来、夏、冬2回の発行を重ね、来年1月発行の冬号をもってちょうど120号となります。

写真に見られるような現在の会報、A4判横書き、表紙カラー刷りに変わったのは平成16年1月発行の106号からです。号を重ねることに寄稿等も増え内容が充実してきております。北水会報の「扉、とでも云うべき表紙には、「農業教育資料館」や「旧正門」など農学部の施設建築物や植物園内の歴史的樹木の現在の様子を映す写真を飾り、裏表紙の昔の写真と対比させています。表紙の写真及び歴史的背景の記述は若尾紀夫氏（岩手大学名誉教授・北水会員）によっています。



新しい装丁となった「北水会報」（平成16年1月発行）

創立61周年 開学記念行事

今年で創立61目を迎える岩手大学では、平成22年6月12日(土)に開学記念事業として、京都大学こころの未来研究センターの鎌田東二教授とバンクーバーパラリンピック金メダリストの狩野亮さんを招き、記念講演会を開催しました。講演会冒頭、狩野さんの栄誉を称え、岩手大学初となる卒業生への特別表彰が行われました。その後鎌田教授から、「こころの時代の科学と宮沢賢治」と題して、講演があり、宮沢賢治の生きた時代や宮澤賢治が作品の中で心をどのように捉え、表現したかを解き明かし、多くの賢治ファンに新たな視点をもたらしました。



講演する鎌田教授

また、講演会終了後には、ポランハウス（農業教育資料館前温室）前において地域住民代表や同窓会・後援会関係者、学生代表等を招待し、園遊会が行われました。会では、民俗芸能サークル「ばっけ」による伝統芸能の舞や音楽サークル「くらむぼん」によるジャズ演奏が披露され、一層会が華やかなものとなりました。

毎年6月上旬に開催の当行事ですが、来年度は、6月11日(土)に開催予定となっており、多くの同窓生の方々にもご参加頂きたいと思っています。詳細等決まり次第、同窓会連合HPに掲載します。



園遊会の様子

大学正門前の看板をリニューアル

大学の正門前に掲げ、地域に向けて発信しているメッセージボードを、平成22年6月7日(月)にリニューアルしました。このメッセージボードは、平成16年に国立大学法人として出発した際に地域に向けて、節目節目において岩手大学が伝えたい想いを発信するために設置されたもので、平成22年度は第2期中期目標・中期計画スタートの重要な年であることもあり、新役員体制となった当日に新しいメッセージを発信しました。

5代目となったメッセージは、若い感性を持ち、情報発信やアンテナが敏感である採用6年目までの事務系・技術系の若手職員から公募し、その後役員・副学長との話し合いの末、「いわての知を みんなの地へ 岩手大学」と決定しました。

このメッセージは、ひとと地域とともに歩んできた岩手大学が培ってきたあらゆる『ひと・財産』を、地域、社会さらには世界に向けて発信し、共生社会に寄与しながら未来を創ることを目指すことをコンセプトにしています。大学正門近くをお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



リニューアルした看板

「岩手大学学生支援基金」へのご協力依頼

岩手大学は、昭和24年(1949年)の創立以来、真理を探究する教育研究の場として、独創的・学際的な研究を通じて優れた学術文化を創造しつつ、幅広い教養と深い専門性を備えた人材を育成し、社会への貢献を図ってきました。

これからも地域社会とともに共生の時代を切り開いていくことを志に定め、「学生を主人公に、地域に開かれ、広く世界へ発信する」大学づくりをめざして参ります。

本学の新たな飛躍の鍵となる人材育成のためにも、学生に対する就学支援の一層の推進を図っていくことが重要であると考え、創立60周年を契機に「岩手大学学生支援基金」を創設することといたしました。

何とぞこの趣旨をご理解いただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

岩手大学長 藤井克己

◆岩手大学学生支援基金は、
本学学生(留学生を含む)の就学等を支援することを目的に
(1)学資支援 (2)生活支援 (3)留学支援
などに使用していきます。

◆募金額
3千円以上、おいくらでも結構です。

◆寄附金の申込み
寄附金は、「郵便振替」と「銀行振込」によりお受けいたします。
詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。下記までお問い合わせ願います。

◆ご厚意に対する感謝
ご寄附いただいた全ての方に深く感謝の意をこめまして氏名、法人名等を「寄附者芳名録」に記して、岩手大学の歴史に永く留めさせていただきます。

◆寄附金に対する税法上の優遇措置
この寄附金は、所得税法、法人税法による税法上の優遇措置が受けられます。
詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。下記までお問い合わせ願います。

◆岩手大学学生支援基金のページ
<http://www.iwate-u.ac.jp/foundation/>

◆問い合わせ先
岩手大学財務部財務企画課
〒020-8550盛岡市上田3-18-8
TEL: 019-621-6023 FAX: 019-621-6879

編集 後記

昨年6月1日に設立された「岩手大学同窓会連合」も2年目の年に入り、会報も第2号の発行となります。大学と同窓会連合が一体となった活動が、徐々にではありますが確実に進められております。本号でも8月に仙台で開催された「卒業生、修了生と学長の懇談会」、10月の大学祭に合わせて行われた「ホームカミングデイ」の様子が掲載されています。

岩手大学をサポートする全学的同窓生の枠組みとして、同窓会連合の役割は、今後ますます大きくなっていくことと思います。今後とも同窓生の皆様からのご支援ご鞭撻をよろしく願っています。(M)

岩手大学同窓会連合会報 No.2
2010.12 発行
発行事務局
〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8
TEL.019-621-6994
FAX.019-621-6014
E-mail:dosokai@iwate-u.ac.jp